



岩手・宮城県際市町災害時相互応援協定を締結

安心で安全な圏域づくり

災害時は

県境を越えて応援協力

7月6日（木）、「岩手・宮城県市町災害時相互応援協定締結式」が一関市役所を会場に行われ、岩手県南3市3町と宮城県北3市2町の計11市町が、宮城県沖地震など大規模災害に県境を越えて相互応援する協定を締結しました。

この協定は、平成12年7月に両県37市町村で結んでいましたが、平成の大合併で構成自治体が再編されたため、締結し直すことになったものです。

協定内容は、大規模災害をはじめ大火や事故などの緊急時に自治体間で情報収集や食糧などの物資提供、応急活動のための職員派遣などの支援について定められています。また、被災地から要請が無くとも自主的に支援できることなども盛り込まれています。

災害は、沿岸部と内陸部では内容が異なるため、広域での協力体制は、災害を最小限に食い止め、早期復興に結び付くと期待されま

しょうないまち 山形県庄内町で 友好町盟約締結等の報告式

祝 合併一周年記念



7月13日（木）、山形県庄内町「響ホール」を会場に、「庄内町・南三陸町 友好町盟約及び災害時における相互応援に関する協定締結報告式」が行われました。

この報告式は、庄内町の合併一周年記念事業として開催され、5月17日に南三陸町で友好町盟約及び災害時における相互応援に関する協定の締結したことを、庄内町民に報告するために行われました。

当町からは、町長、町議会議長ら10人が出席し、友好町のぎずなを深めてきました。

《記念品の紹介》

贈られた記念品は、庄内町の特産品「ぼんてんやき梵天焼」で作られた花生けです。梵天焼きは、顔料を入れて数種類の色土を作り、その組み合わせで表れる紋様が特徴的な焼き物です。

製作は、庄内町在住の陶芸家 斎藤 勇 氏によるもので、作品のタイトルは「爽風」です。

初夏の庄内の田園を駆け抜ける爽やかな風が、南三陸町への便りとして届くよう思いを込めて作られました。※贈られた記念品は、役場行政第一庁舎の玄関ホールに展示してありますので、ご覧ください。

庄内町から記念品が贈られました